

令和 3 年度 岡本小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

人間尊重の精神に基づき、一人一人の特性や能力を生かし、他者と協働できる、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

自ら考え主体的に行動し、心豊かでたくましい児童の育成

○かしこく（進んで学ぶ子）○やさしく（思いやりのある子）○たくましく（元気でがんばる子）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

常に子供を中心に据え、子供の視点に立ち、どの子にも夢とやる気と自信を育む教育を実践するために、学校・家庭・地域が連携・協力し、子供一人一人の個性や能力を生かす活力あふれる学校、思いやりの心を持ち温かみと潤いのある学校、保護者・地域に開かれた信頼される学校となることを目指す。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 基礎・基本の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成を図るため、ICT等を効果的に活用しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努めるとともに、多様な児童の状況に応じた指導・支援を行う。
- (2) 互いを尊重し合う温かな人間関係のもと、認め励ます指導により、児童一人一人の自信や自己有用感を高め、自分のよさを生かしながら、他と協働する力を育む教育活動の充実を図る。
- (3) 運動を通じて体力を養うとともに、健康な生活習慣・望ましい食習慣・危険の予測や回避など、健康で安全な生活を送るための知識や能力を身に付け、命を守り抜くために自ら考え行動できる力の育成に努める。
- (4) 特色ある学校づくりの推進や、体験活動・読書活動の充実を通して、社会性や豊かな心の育成、目標に向かって挑戦し続けるたくましさの涵養に努める。
- (5) 教職員としての高い指導力と専門性を身に付け、同僚性を発揮してチームで協力し合いながら指導にあたるとともに、業務の適正化や勤務時間を意識した働き方を推進していく。
- (6) 積極的な情報の発信・提供により、家庭や地域とのつながりを深めながら教育活動を展開するとともに、学校経営の改善に努める。

[河内地域学校園教育ビジョン]

すこやか河内 ～小中一貫教育を通して、子供たちの心身のすこやかな成長を目指します～

4 教育課程編成の方針

社会の変化やSDGs等に係る現代的な諸課題に対応するため、生涯にわたって成長し続ける基盤となる知・徳・体の調和のとれた力を、児童の発達段階や特性、地域の教育環境、保護者や地域の願いなどを踏まえつつ、教科等横断的な視点で各教科等との関連を図りながら育成する。(◇は留意点)

- ◇ ギネス活動をはじめとする児童会活動や学級活動の時間を確保し、児童の主体性を育む取組を更に充実させるため、週に2日「岡小タイム（ロング昼休み）」が実施できる日課とする。
- ◇ 言語能力を高め、確かな学力を身に付けさせるために、第1学年に、多層指導モデルMIMを導入した授業を位置付ける。
- ◇ GIGAスクール構想の実現を目指し、一人一台端末を活用した学習活動を充実させるとともに、プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けさせるための学習活動を計画的に実施する。
- ◇ 認め合い・励まし合い・協力し合える豊かな人間関係を、縦割り班活動や体験活動、学習指導要領の趣旨を具現化した授業実践等を通して構築するとともに、心のたくましさを涵養する。
- ◇ 魅力ある学校づくり地域協議会の意見や、学校マネジメントシステムによる教育活動の反省を、次年度の学校運営に生かす。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

教職員それぞれが個性や能力を発揮し、同僚性を高めることのできる環境づくりに努めるとともに、校内業務の適正化を図り、勤務時間を意識した働き方を推進していく。

【学 習 指 導】

○児童の学力の状況を把握し、個に応じた指導や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善等により、基礎・基本を確実に習得させ、言語能力の向上に努めるとともに、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。併せて、一人一台端末を活用しながら家庭学習の習慣化に努める。

【児 童 生 徒 指 導】

○規範意識の醸成や認め励ます指導により自信や自己有用感を高め、道徳科（道徳の時間）や体験活動・読書活動の充実、家庭・地域と連携したあいさつや適切な言葉遣いの励行等を通して、生命や人権を尊重する思いやりの心を育み、いじめや不登校を生まない環境を作るとともに、折れない心や、やり抜く心など、心のたくましさの涵養に努める。

【健康（体力・保健・食・安全）】

運動量の確保やICTの活用などによる授業の充実に努め、運動の日常化を推進するとともに、感染症予防や健康な生活習慣、望ましい食習慣に対する理解を深め、改善することができるよう家庭との連携を図る。併せて、安全に関する理解を深め、危険を予測し回避するなど、自らの命を守り抜くための行動力を身に付けられるよう警察等の関係機関とも連携し、指導の充実に努める。

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 児 童	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる」→児童肯定的回答 80%以上	① 協働体制による研究を進め、授業力の向上を図る。全員で授業を公開し合い、より良い授業を目指して協議を行う。 ② 様々な方法や観点からの評価により、一人一人の定着度を把握し、個に応じた指導を行う。 ③○ 理由などを含めて発表できるよう、発達の段階に応じて指導するとともに、生活、学習の両面で、教師が言葉の意味や使い方を問いかけたり、説明したりする場面を多くし、児童の語彙力の拡充に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」→児童肯定的回答 90%以上	①○ 道徳科において、考え議論する授業展開を図るとともに、学年学級を越えて人とのかかわりを深め、相手を思いやり、相手の立場を考え生活できるよう指導の充実に努める。 ②○ 学校図書館を核とした読書活動の推進により、豊かな心の育成に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「きまりやマナーを守って生活している」→児童肯定的回答 85%以上	① 集団と個の両面から一人一人の児童の特性を適切に把握し、ふれあいとルールを大切にした学級づくりに努める。 ②○ 「岡本小学校の生活のきまり」「すこやか河内学校園のきまり」の指導の充実とともに、毎月の児童指導の重点の実践に取り組む。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「時と場に応じたあいさつをしている」→保護者肯定的回答 75%以上	○ 新しい生活様式に対応したあいさつ運動の実施方法を検討し、学級活動等の指導を通して、あいさつの定着及び適切な態度が習慣化できるよう取り組む。		【達成状況】 【次年度の方針】

の 姿	A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 →児童肯定的回答 80%以上	・ 学校行事や日々の教育活動において、目標を達成する学習過程を重視した指導に努めるとともに、児童の良さや努力などを認め励ます教育を推進する。「児童会活動」「きらきらさん」「宮っ子心の教育表彰」等	【達成状況】 【次年度の方針】
	A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】全体アンケート「健康や安全に気を付けて生活している」 →児童肯定的回答 85%以上	① 業間や昼休みは外に出て遊ぶことを推奨するとともに、各種検定カードを有効活用し、進んで運動する機会を増やしていく。また、元気っ子健康体力チェックやミニマムの結果を分析し、体育の授業の中に児童の実態に合った運動を位置付ける。 ② 健康の保持増進が図られるよう、毎日の指導に取り組むとともに、保健だよりや食育だより等により啓発し、家庭との連携を図る。 ③ 避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施して、体験活動を通した安全教育を推進する。 ④新しい生活様式に対応した工夫・善を図る	B 【達成状況】 【次年度の方針】
	A7 児童は、夢や目標をもつて、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】全体アンケート「夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 →児童肯定的回答 80%以上	○集団や地域のために働く機会を設定するとともに、学校農園活動や校外学習等により、働くことの大切さや喜びを実感させる教育活動に取り組む。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】全体アンケート「外国語活動の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 →児童肯定的回答 80%以上	① 教員が英語を使うとともにALTを活用し、英語のやり取りを中心とした授業を展開する。 ② ALTとの交流給食など、学校生活の中で英語を使う機会を設ける。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】全体アンケート「宇都宮の良さを知っている」 →児童肯定的回答 80%以上	① 生活科や社会科、総合的な学習の時間において、岡本地区や宇都宮市を教材にした学習を展開する。また、市作成教材を活用し、さらに宇都宮市のよさを実感できるよう授業を展開する。 ② 地域の情報を収集し、学校だよりに掲載することにより、地域の良さを実感できるよう児童や保護者の地域活動を促進する。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】全体アンケート「パソコンや図書等を学習に活用している」 →児童肯定的回答 60%以上	① 情報教育担当や司書が学級担任と連携し、コンピュータ及びタブレット、学校図書館図書、市立図書館の巡回図書等の活用を図る。 ② 読み聞かせの実施や図書だよりによる啓発などにより学校図書館を核とした読書活動を推進する。 ③○ ICT や図書資料を意図的に取り入れ、分かりやすい授業の展開を心がける。さらに1人1台タブレットの導入を機に、その特性を各教科の学習に生かす。	【達成状況】 【次年度の方針】

目 指 す 学 校 の 姿	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】全体アンケート「誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」→児童肯定的回答 90%以上	①〇 新しい生活様式のもと、地域の高齢者との交流などにより、地域の人とのかかわりを深め、相手を思いやり、時と場に応じた言葉遣いができるよう指導の充実に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】全体アンケート「環境問題や防災等の『持続可能な社会』について、関心をもっている」→児童肯定的回答 80%以上	① 学校農園活動や花いっぱい運動など、自然の大切さを実感させる教育活動に取り組む。 ② 地域学校園クリーン活動や奉仕活動、給食ごみリサイクルなど、学校内外の環境維持を意識させる教育活動に取り組む。 ③ 避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施するなど体験活動を通じた安全教育を推進する。また、様々な災害における避難方法など詳細を保護者へ周知・連携を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケート「特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」→教職員肯定的回答 80%以上	① 教育支援委員会及び児童に関する情報交換会等により、特別な支援を必要とする児童や保護者の情報共有を図る。 ② 教育支援委員会及びケース会議により、学級やかがやきルームでの指導方針・具体策を組織的に検討し、一人一人のニーズに応じた指導に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケート「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」→保護者肯定的回答 75%以上	① いじめに関するアンケートや教育相談、いじめゼロ集会を実施し、普段から安心して相談できる教職員と児童との関係づくりに努め、早期発見・対応を図る。 ②〇道徳科の授業公開や人権週間の設定、いじめゼロ強調月間による啓発などにより、児童にいじめを許さない心情を育てる。 ③〇 児童が安心して相談できる教職員との関係づくりに努め、早期発見・対応を図るとともに、様々な啓発及び指導などにより、児童にいじめを許さない心情を育てる。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、児童（生徒）がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」→児童の肯定的回答 80%以上	① 学習指導や特別活動をととして自己肯定感を高める取り組みを継続して行い、児童の良さをいかす教育環境を整え、不登校を未然に防止する。 ② 「きらきらさん表彰」や「宮っ子心の教育表彰」等を活用し、児童の良さや努力などを認め励ます教育を推進する。 ③ S C M及び不登校対策担当を核として組織的に支援策を検討し、保護者との連携や別室登校支援などに取り組む。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケート「特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」→教職員肯定的回答 80%以上	① 教育支援委員会及び児童に関する情報交換会等により、特別な支援を必要とする児童や保護者の情報について共有を図り、通訳者派遣や翻訳文書の配付など行政支援の要望を検討する。 ② 教育支援委員会及びケース会議により、学級やかがやきルームでの指導方針・具体策を組織的に検討し、一人一人のニーズに応じた指導に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

A17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート「私は今の学校が好きです」→児童の肯定的回答 90%以上	① 体験的な活動を取り入れたり、教育機器等を有効に活用したりして、児童の学習意欲を高める授業の工夫をする。 ②○ 学校行事に児童が自主的・主体的に取り組む場面を設定し、教師が適切な指導・支援・助言をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート「教職員は分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている」→教職員肯定的回答 90%以上	① 学力の向上等を目指し、教材研究を十分に行い、明確な課題提示と、振り返りや発問、学び合いや活動により、分かる授業を展開する。 ② 児童の実態に応じたきめ細かな指導をするために、単元や学習内容に応じて様々な学習方法及び形態の工夫をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」→教職員肯定的回答 80%以上	① 様々な学校行事のみならず、日頃の教育活動全般において、教職員と関係する学校スタッフが事前の打合せも含めて協働の意識で業務にあたったので、今後も継続させたい。	【達成状況】 【次年度の方針】
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】出退勤記録 12 月までの全教職員残業時間の平均→月 45 時間未満	① 大きく見直した各種の行事や計画を、課題と成果を明らかにして改善させるようカリキュラムマネジメントを行う。 ② ミラ임やポータルなどをより活用したペーパーレス化や効率化の共通理解を推進し、事務等の一層の効率化を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている」→保護者肯定的回答 85%以上	①○地域学校園研修や各部会・教科部会等を定期的に実施し、計画的に推進する。 ②○「小中一貫教育だより」や「学校だより」、HP 等による情報発信に努め、保護者や地域への周知を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」→地域肯定的回答 80%以上	① 街の先生及び学校支援ボランティアと連携した授業や活動を教育課程に位置付けて実践する。 ② 昨年度の取組・課題を生かし、岡本小地域協議会を核にした教育活動支援の円滑な実施と有効活用にも努め、学校運営の充実を図るとともに、地域や保護者への情報発信に心がける。	【達成状況】 【次年度の方針】
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」→地域肯定的回答 80%以上	① 校外学習計画の見直しに伴い、街の先生及び学校支援ボランティアと連携した授業や活動の見直しをしながら実践する。 ② 地域協議会便り等の各種便りや HP を活用してより一層地域や保護者への啓発活動を広げていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】全体アンケート	① 保護者や学校施設利用者へ災害時避難方法や児童送迎時の自家用車乗り入れ方法の周知、AED講習の案内など、危機対応に関する情報を提供する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 →保護者肯定的回答 80%以上	② 全教職員による毎月の安全点検を行い、児童や利用者が安全に活動できる環境づくりに取り組む。	
	A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】全体アンケート「パソコンや図書等を学習に活用している」 →児童肯定的回答 90%以上	① 情報教育担当や司書が学級担任と連携し、I C T 機器、学校図書館図書、市立図書館の巡回図書等の活用を図る。 ② 読み聞かせ実施や図書だよりによる啓発など学校図書館を核とした読書活動を推進する。 ③ I C T や図書資料を意図的に取り入れ、分かりやすい授業の展開を心がける。さらに 1 人 1 台タブレットの導入を機に、その特性を各教科の学習に生かす。	【達成状況】 【次年度の方針】
本校の特色・課題等	B 1 すべての学習活動を通して、児童の積極性を育てる。 【数値指標】全体アンケート「学習や生活に積極的に参加できた」(1～4 年)「学習や生活に責任をもって取り組むことができた」(5・6 年) →児童肯定的回答 85%以上	① 学校全体の活動において、本校の実態に応じて改善・充実させ、学校及び学年学級の活性化を図る。 ② 児童会活動等の運営に参画させ、高学年がリーダーとして活動できるよう指導する。	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。